

INFORMATION

No. 1111-24

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、検査内容を変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承のほどお願い申し上げます。

敬具

記

■ 変更内容

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧
4424	抗ミュラー管ホルモン (AMH)	検査コード 測定方法 単位	4424 ELISA ng/ml	4402 EIA pmol/l
3813	KRAS遺伝子codon 12、13変異解析	検査コード 測定方法	3813 Scorpion-ARMS法	3809 ダイレクトシーケンス法

※上記検査項目の基準値はありません。

※旧コード・測定法の検査は下記期日前日にて受託を終了させていただきます。

(裏面参照)

■ 変更実施期日

平成23年 12月 1日(木) 受領分より

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659

URL <http://www.e-musashi.co.jp>

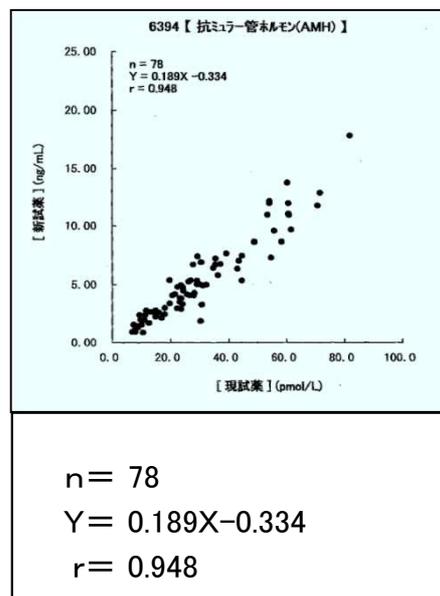
* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

■抗ミュラー管ホルモン(AMH)

抗ミュラー管ホルモンは、女性において原始卵胞から発育する全胞状細胞等から産生され、加齢に伴い下降傾向を示すホルモンです。性周期の影響を受けにくく、発育細胞数と相関することから、卵巣の予備機能の指標として注目されています。

また、疾患との関連では多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)において高値となることが知られています。

女性の社会生活の多様な変化に伴い、卵巣の予備機能の評価は、婦人科領域での重要性を増しております。加齢に伴い卵巣機能は低下しますが、個人差があるため、個人の卵巣予備能に適した治療法の選択や治療計画のために、抗ミュラー管ホルモン(AMH)が大きな役割を果たすと期待されています。



■KRAS遺伝子 codon 12、13変異解析(Scorpion-ARMS法)

大腸癌では、KRAS遺伝子変異があると、抗EGFR抗体薬の効果が期待できないことが知られています。KRAS遺伝子検査は、2010年4月の保険収載以降、投与前に実施すべき抗EGFR抗体薬の効果予測バイオマーカーとして広く認知されるようになり、個別化医療の進展・普及に貢献しています。

※Scorpion-ARMS法: 変異を特異的に増幅する「ARMS」と増幅させた変異をシグナルに変える「Scorpions」の2種類の技術を組み合わせた新しい高感度リアルタイムPCRです。

※留意事項: 当該検査に供する組織片は必ず病理組織的に鏡検され、腫瘍組織の存在が確認されていることが受託の必要条件となります。

※未染標本スライド材料について: 提出の際には、HE染色標本により腫瘍細胞が確認されたホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより10μm厚さの連続切片にてスライド作製願います。作製した未染標本スライドは、ケースに入れ、室温保存にてご提出ください。

■検査要項

コード	検査項目名	容器	検査材料等	検査方法	基準値	単位	所要日数	実施料
4424	抗ミュラー管ホルモン(AMH)	A	血清 0.6ml	ELISA	未設定	ng/ml	4日～6日	未収載
3813	KRAS遺伝子codon 12、13変異解析		未染標本スライド5～10枚	Scorpion-ARMS法			5日～7日	2000点

※KRAS遺伝子codon12、13変異解析: 病理材料以外は受託できません。

なお、病理検査材料は、組織のホルマリン固定によりDNAが断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能なことがありますので、あらかじめご了承ください。他項目との重複依頼は避けてください。